長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

経年劣化による危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容を室内ユニットに表示しています。

※【設計上の標準使用期間】　10年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火･けが等の事故に至るおそれがあります。

※設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 製造年についても、室内ユニットに西暦４桁で表示しています。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものではありません。

●設置状況や環境、使用頻度が下記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火、けがなどの事故に至るおそれがあります。

■標準使用条件

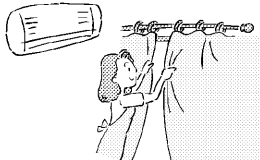
ルームエアコンディショナの設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件による（JIS C 9921-3）

<table>
<tr><td rowspan="11">環境条件</td><td colspan="2">電源電圧</td><td colspan="2">製品の定格電源・電圧による</td></tr>
<tr><td colspan="2">周波数</td><td colspan="2">50／60Hz</td></tr>
<tr><td rowspan="4">冷　房</td><td>室内温度</td><td colspan="2">27℃（乾球温度）</td></tr>
<tr><td>室内湿度</td><td colspan="2">47%（湿球温度 19℃）</td></tr>
<tr><td>室外温度</td><td colspan="2">35℃（乾球温度）</td></tr>
<tr><td>室外湿度</td><td colspan="2">40%（湿球温度 24℃）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">暖　房</td><td>室内温度</td><td colspan="2">20℃（乾球温度）</td></tr>
<tr><td>室内湿度</td><td colspan="2">59%（湿球温度 15℃）</td></tr>
<tr><td>室外温度</td><td colspan="2">7℃（乾球温度）</td></tr>
<tr><td>室外湿度</td><td colspan="2">87%（湿球温度 6℃）</td></tr>
<tr><td colspan="2">設置条件</td><td colspan="2">製品の据付説明書による標準設置</td></tr>
<tr><td rowspan="2">負荷条件</td><td colspan="2">住宅</td><td colspan="2">木造平屋、南向き和室、居間</td></tr>
<tr><td colspan="2">部屋の広さ</td><td colspan="2">機種能力に見合った広さの部屋（畳数）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">想定時間</td><td colspan="2" rowspan="2">１年間の使用日数</td><td rowspan="2">東　京
モデル</td><td>冷房６月２日から９月21日までの112日間</td></tr>
<tr><td>暖房10月28日から４月14日までの169日間</td></tr>
<tr><td colspan="2">１日の使用時間</td><td colspan="2">冷房　９時間／日
暖房　７時間／日</td></tr>
<tr><td colspan="2">１年間の使用時間</td><td colspan="2">冷房：1,008時間／年
暖房：1,183時間／年</td></tr>
</table>

上手な使いかた

省エネ……ちょっとした工夫で節電を

窓にはカーテンを

カーテンやブラインドを利用すると、夏は直射日光をさえぎり、電気代は約５%お得です。冬は熱を逃がさないので節電につながります。

エアフィルターの掃除はこまめに

フィルターが汚れると、スムーズに風を送れなくなるため、電気代が約５～10%上がり、悪臭や故障の原因にもなります。

２週間に一度はお掃除を。
(☞21ページ)

節電のポイントは２℃の差

設定しようと思う温度よりも暖房時は2℃低め、冷房時は2℃高めにすると約10～20%の電気代が節約できます。

フロンについて

家庭用エアコンには最大でCO_2（温暖化ガス）3,600 kg（マルチシステムの場合は10,500 kg）に相当するフロン類が封入されています。
地球温暖化防止のため、移設･修理･廃棄等にあたってはフロン類の回収が必要です。

この表示は家庭用エアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを、ご認識いただくための表示です。
エアコンの取り外し時はフロン類の回収が必要です。
廃棄時には家電リサイクル法の制度に基づき適正な引き渡しをしていただければ、確実にフロン類の適正処理がされます。

特定化学物質の含有状況表示ウエブサイト
http://www.daikin.co.jp/csr/env/j-moss.html

長年ご使用になるエアコンの点検は定期的に！

愛情点検

このような症状はありませんか？

- ●電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●電源プラグが変色している。
- ●こげ臭いニオイがする。
- ●ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- ●置台や吊り下げなどの取付部品が腐食していたり、取付けがゆるんでいる。
- ●室内ユニットから水がもれる。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグを抜くか、ブレーカーを切ってから、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後10年です。

ダイキン工業株式会社

本　　社　〒530-8323　大阪市北区中崎西二丁目4番12号　梅田センタービル
東京支社　〒108-0075　東京都港区港南二丁目18番1号　JR品川イーストビル

二次元バーコードは製造用コードです。

お客様メモ

ご購入店名

TEL

据付年月日　　　　年　　　　月　　　　日

3P261458-2B　M09B283B 66129905718 (1007) HT